

講義名称	保育実習指導Ⅱ	担当教員名	渡邊 哲也
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育実習 (NP) 選択必修	単 位	1
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMNP2347

授業のキーワード	保育実践力、保育士の専門性と職業倫理、保育に対する課題や認識の明確化
授業の概要	保育実習ⅠAおよび既習教科の内容やその関連性を基に、保育実践力を培うことを目的とします。保育実習ⅠA、保育実習実習指導ⅠAを履修済み、保育実習Ⅱ、保育内容総論を同時履修してください。
期待される学習成果 (目標)	保育実習Ⅱの意義と目的を理解し、保育について総合的に学びます。観察や記録、計画の学びを踏まえて指導案を立案することができます。実習終了後には自己評価を行い、保育に対する課題を明確化することができます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	事後指導における実習の総括と評価	課題の明確化ー保育実習Ⅱにむけてー
2	計画と観察、記録、自己評価	保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善 保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践
3	保育士の専門性と職業倫理	保育士の専門性
4	保育の実践力の育成	子ども (利用者) の状態に応じた適切な関わり 保育の知識・技術を活かした保育実践
5	自己の課題の明確化	自己の課題の明確化
6	保育の実践力の育成	子ども (利用者) の状態に応じた適切な関わり 保育の知識・技術を活かした保育実践
7	事後指導における実習の総括と評価	実習の総括と自己評価
8	保育士の専門性と職業倫理	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解
9	保育士の専門性と職業倫理	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解
10	保育士の専門性と職業倫理	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解
11	事後指導における実習の総括と評価	課題の明確化
12	事後指導における実習の総括と評価	学生さんの自己評価
13	保育実習による総合的な学び	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解
14	保育実習による総合的な学び	3つの柱・10の姿・乳児保育の3つの視点・5領域・養護と教育
15	保育実習による総合的な学び	3つの柱・10の姿・乳児保育の3つの視点・5領域・養護と教育

定期試験	定期試験は実施しません。
授業時間外学習	授業内容 (シラバス参照) を教科書・配布資料等を使って予習・復習してください。演習 (1単位) は1回の授業に1時間相当の予習・復習が必要です。
評価方法	授業貢献度30%、事前面接と自己課題20%、小テスト等30%、発表20% 課題はGoogle Classroomに提出とし、Google Classroomからフィードバックします。
使用する教科書 (必ず購入してください)	授業中に配布します。
参考文献	『保育者になる人のための実習ガイドブックA to Z』、那須川知子【監修】、崩文書林 『幼稚園・保育所・施設 実習ワーク ー認定こども園対応 改訂版ー』、小林郁子【著者代表】、崩文書林